

令和6年度事業計画書

当財団の使命は、ICTの利活用を促進し、「とくしまの元気を応援する」ことです。

設立当初はICTの普及・啓発事業に注力し、その後、平成21年度には高等教育機関を対象とした表彰事業を開始し、さらには、調査・研究事業を高等教育機関向けの助成制度として再編成するなど、ICT人材の育成を通じ、徳島の次代を見据え、特に教育分野の情報化支援を積極的に推進してまいりました。

中でも、平成23年度から小・中学校現場で多大な負担となっていたホームページ・図書室運用業務については、当財団自らサービス主体となり、システムの提供や講習・サポートを行う事業を開始し、令和4年度から全24市町村のホームページを管理・支援しております。

また、私たちの活動分野であるICTの進展は留まることを知らず、国においては、「デジタル田園都市国家構想」のもと、5Gはじめデジタルインフラの整備や人材育成など、社会全体のデジタル化が加速される中、本県では、ICTに不慣れな方々の「情報格差（デジタルデバイド）」解消に向け、令和3年10月、県と財団が連携し、県内の人材育成拠点として、産学官連携のもと、「とくしまデジタル人材育成プラットフォーム」を設置し、多様なスキルを持つ「デジタル支援員の育成」と「人材バンクへの登録」を行い、地域や企業、学校におけるデジタル活用を支援して参りました。

財団においては、今後も県と連携し、地域のニーズを踏まえ、高齢者や障がい者を対象とした講座の開催や学校現場への支援など、誰一人取り残さない「人にやさしいデジタル社会」の実現に向け、取り組んで参ります。

さらに来年度は、当財団の事業開始から20年目を迎えるという節目の年に当たりますので、普及・啓発事業において財団創立20周年を記念した事業を実施します。

そして、このような活動を可能とするためには、安定的な財政基盤の確立が必要です。当財団の賛助会員数は、平成20年度には、個人会員5名、法人会員32団体でありましたが、令和6年3月現在では、個人会員77名、法人会員105団体となっております。令和6年度におきましても、引き続き新規会員勧誘に努めますと共に、ご加入いただいている会員の皆様のさらなる満足度向上に向け、キャリア教育出前授業への参加など財団の諸活動への参画を通じてメリットを享受いただけるよう努力して参ります。

令和6年度の事業計画は、これまでの蓄積を基に、本県が抱える様々な課題と向き合い、ICTを課題解決ツールとして、より一層効果的・積極的に利活用できますよう取り組んで参ります。

1 実施事業（公益目的事業）

(1) 普及・啓発事業（公1）

I C Tの持つ特性・有効性、最新の技術動向、利活用方法などについての先進的な取組事例等を紹介することにより、県民の皆様のI C Tの利便性を活かした様々な地域活動が促進されるよう、各種セミナー・講演会、研修会等を開催します。

また、徳島の未来を担う子どもたちのために、賛助会員の方々の協力をいただきながら、学校現場で、キャリア教育出前事業を実施するとともに、「G I G Aスクール構想」の推進に向けて、プログラミング教育の支援を、引き続き行って参ります。

さらに、誰一人取り残さない「人にやさしいデジタル社会」を実現するため、これまでに育成した「とくしまデジタル支援員」等を活用し、地域や企業におけるデジタル活用を支援します。

ア セミナー等

- ・ 県内企業や県民の方々が、I C Tを利活用したビジネス展開を図る上で参考となるI T業界や経済の最新情勢等について、有識者やI T業界の技術者等を講師とするセミナーを開催します。
- ・ I C Tをさらに利活用する契機とするため、最先端技術に関するセミナーを開催します。
- ・ インターネットや携帯情報端末の危険性への理解を深めるため、小中学生を対象とした「情報モラル教室」を実施します。

⑨イ 財団創立20周年記念事業の実施

当財団が平成17年2月に設立して以来、20年目を迎えることから、財団創立20周年記念事業として普及・啓発セミナー等を実施します。

ウ デジタルデバイド対策事業

- ・ 市町村と連携して、デジタルデバイド対策を推進するため、キャリア店舗のない市町村における高齢者向けのスマホ体験教室を実施するとともに、障がい者を対象としたスマホ体験教室を重点的に開催し、さらなるデジタルデバイドの解消に努めます。
- ⑩・ 様々なニーズに応えるため、「スマホ相談会」を開催することに加え、財団において、スマホ相談窓口を定期的に設け、個別に相談を受けます。

エ その他

- ・ 四国大学との包括連携協定に基づき、同大学大学院において、県及び市町村におけるデジタル化を担う実践的なI C T人材の育成を図ります。

- ・小・中・高等学校におけるキャリア教育出前授業で賛助会員企業・団体とのマッチングを行い、多くの方と触れ合うことで、子どもたちの地域や企業などへの愛着を高めます。
- ・小・中学校において県・市町村教育委員会をはじめ関係機関と連携を図りながら、プログラミング教育の支援を行います。
- ・児童、生徒の情報セキュリティ意識の向上を目的に、情報モラル・セキュリティをテーマとした標語やポスター等を募集し、優秀な作品を表彰します。

(2) 利活用支援事業（公2）

ICTの利活用方策について学校等に対し、相談、助言等の支援を行います。

ア 学校におけるICT利活用支援

県・市町村教育委員会との緊密な連携の下、県内小・中学校における各種の課題解決のため、ICTを利活用した支援を行うこととし、

- ・小・中学校の効果的な情報発信を支援するため、学校ホームページの運用を支援します。
- ・小・中学校の効果的な図書教育の支援及び図書館のDX化を推進するため、学校図書のシステム化を支援します。
- ・学校現場におけるICTに関する様々な課題解決を図るため、小・中学校にICT支援員を派遣し、相談・助言を行います。

イ 地域におけるICT利活用支援

- ・県内の公共的団体における各種の課題解決のため、ICTを利活用した支援を行うこととし、社会福祉協議会など公共的団体のホームページの運用を支援します。

ウ 電子自治体支援

県内の地域情報化を推進するため、自治体、地域住民等が利活用する地方公共団体のシステムについて、共同利用型システムの導入支援を行います。

エ 無料職業紹介事業

令和5年4月に開設した無料職業紹介所において、「とくしまデジタル人材バンク」に登録しているデジタル支援員をはじめ、県内外のデジタル人材を県内の市町村や中小企業等へ紹介、あっせんすることなどを通じ、地域のデジタル化を推進します。

(3) 表彰事業（公3）

- ・未来を担う人材をはぐくむため、県内高等教育機関等に在籍し、ICTに関して優秀な功績があった団体や個人を表彰します。
- ・「GIGAスクール構想」の推進に向け、ICTを活用した優れた取り組みを行った小・中学校を表彰します。
- ・県内小・中学校のホームページ活動を促進するため、ホームページ更新の頻度・内容等、様々な角度から優れた取組を行い他の模範となっている学校を表彰します。

(4) 助成事業（公4）

- ・「デジタルとくしま推進プラン」の重点戦略の推進に向けて、県内の高等教育機関等が実施するICTの利活用に関する調査・研究に対して、助成を行います。
- ・広く県民のICT社会への参加を促すため、県内の市町村などが行う「デジタルデバйд対策」などICT利活用のために行う普及啓発事業に助成を行います。

2 その他（管理運営）

(1) 財務基盤の強化等

更なる賛助会員獲得へ向けて活動を行います。また、「賛助会員事業運営委員会」（令和2年度設置）等において会員の皆様からいただいたご意見を財団運営に活かして参ります。また、令和3年度から始めたホームページを活用したバナー広告により、広告収入の確保に努めて参ります。さらに、業種の枠を超えた情報交換や人的交流の機会を提供することで、会員の皆様にはネットワークを広げていただくほか、キャリア教育出前授業など、財団事業へ積極的に参画いただき、財団もその支援を行います。

(2) 情報発信の強化

当財団の認知度を高めるため、当財団の取り組みや行事等について報道機関へ資料提供するほか、ホームページ・パンフレットなどによる広報を積極的に行います。